

# 幌小っ子だより

## 幌別小学校教育目標

- すすんで学びよく考える子
- 互いに助けあい思いやる子
- 丈夫な体でたくましく生きぬく子

(昭和62年3月改訂)

登別市立幌別小学校

学校だより

第5号

令和6年7月23日

## 夏休みを迎えるにあたって ～3つのお願い～

校長 松田周一

明日から夏休みです。子どもたちにとってはとても嬉しく、保護者の皆様にとっては少し憂鬱・かもしれません。さて、この夏休み「子どもの未来を支える」ために3つのことを書かせていただきます。

### ①学びの継続を

幌別小学校の子どもたちは比較的、家庭学習に取り組んでいる児童が多いのです。児童アンケートでも90%の子どもが進んで家庭学習を行っていると回答しております。(ちなみに保護者アンケートでは70%)この学習習慣を持続させ、さらに発展させるためには、特に中学年や高学年において、自ら学習計画をたてて工夫して学習を進める経験をして欲しいと考えております。計画をたて、それを遂行したり、改善を図ったりすることは、学力の向上はもちろんですが、ゴールまでの地図をつくる力を身に付けることにも繋がります。夏休みはこの力を伸ばす良い機会だと考えております。

### ②公共のマナーやルールの遵守を

公園での遊び方、自転車の乗り方等、学校でも指導はしておりますが、これらの基本はご家庭にあります。叱られるから守るのではなく、なぜそのきまりが必要なのかを理解をさせ、それを自分の心に刻む夏休みにして欲しいのです。

### ③生活リズムを守ること

生活リズムを整える際に重要なことは、子どもに守らせることではなく、それが心身に与える影響について理解し、自ら考えて適切な行動を選ぶことができるようにすることだと考えます。とはいえ、なかなか難しいことも事実です。多くの保護者の皆様が、苦勞されておられます。特に「早起き」は基本であるにもかかわらず難しいのです。昼間の活動を多くしたり、睡眠の質を上げたり、と様々な工夫をされていることと思います。また、朝、早く起きることによって楽しいことがある等でも良いかもしれません。もちろん高学年であればなりたい自分を意識して、自分で決めた生活リズムを自分で守ることが大切です。学校でも指導いたしますが、お子さんにあったご家庭での取組をお願いいたします。

これら3つのことは、全て「自分を調整する力」を身に付けることにつながります。この力は、子どもたちが未来に生きる上で益々重要になってきます。「自分で計画し、必要な学びを継続した。」「その場その場において必要なことを考えながら行動することができた。」「一日の計画を自分で考え実行できた。」等、それに向けて努力した経験も含め全てが子どもたちの未来を切り拓く力の礎となるのです。

最後になりましたが、保護者・地域の皆様におかれましては、一学期の本校の教育活動に対しまして、多大なご協力、ご支援をいただき、誠にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

### ～幌小ニュース～

#### 学校への携帯・スマホの持ち込みについて

学校へのスマホ持ち込みについて問い合わせがありました。原則、禁止はしていません。朝、職員室に預けて帰りに持って帰ることになります。ただ、基本的には家庭の責任での管理です。持ち帰り忘れなどの際に届けるなどの対応は致しかねますのでご了承ください。